

令和５年度 第Ⅰ回摂津市文化財保護審議会 要点録

日 時：令和６年３月２２日（金）午前１０時００分～午前１１時３０分

場 所：摂津市役所本館２階 ２０２会議室

出席委員：４名（望月委員、網委員、村田委員、佐古委員）

事務局：３名（生涯学習課）

案 件：（１）委員長、副委員長の選出について

（２）令和５年度文化財啓発事業に関する報告

（３）令和５年度千里丘西地区再開発に係る発掘調査結果について

（４）市指定有形文化財「旧一津屋公会堂」について

（５）その他

案 件：（１）委員長、副委員長の選出について

委員長 望月委員

副委員長 網委員

案 件：（２）令和５年度文化財啓発事業に関する報告

（事務局）説明

修繕関係

- １ 鳥飼牧跡石碑説明板の文字に剥がれが認められたため修繕を行いました。
- ２ 子安地蔵頭彰札の文字に剥がれが認められたため修繕を行いました。
- ３ 離宮鳥飼院跡石碑説明板の文字に剥がれが認められたため修繕を行いました。
- ４ 鳥飼牧跡の損傷していた車止めの撤去を行いました。

普及・啓発事業

- Ⅰ 明和池遺跡から出土した埋蔵文化財の展示

摂津市文化財愛護会、ふるさと摂津案内人の会、郷土史研究会の文化財３団体主催の第６回歴史特別展「明和池遺跡から見るものづくり摂津市の歴史」で展示。

※最終日の歴史セミナーでは、展示ケースから出して展示。また触れる土器、瓦のコーナーを設置しました。

味舌天満宮摂社八幡神社本殿屋根改修工事

名 称：大阪府指定有形文化財

味舌天満宮 摂社八幡神社本殿

所 有 者：宗教法人 味舌天満宮

所 在 地：摂津市三島３丁目９-３

員 数：１棟

## 明和池遺跡出土遺物の貸出

茨木市立文化財資料館 第39回テーマ展「銅鐸をつくる～弥生時代の鑄造技術～」に明和池遺跡出土の鑄造道具を貸出・展示。

### [質疑応答や各委員の意見等]

(委員) 明和池遺跡から出土した埋蔵文化財の展示については、常設ではなく巡回展示だという事は分かった。広報の方法は？

(事務局) 摂津市には常設の展示施設はございませんので、現状では市内公民館での展示ケースによる巡回で対応しています。巡回展示については、広報活動は行っていません。今後検討してまいります。

(委員) 公民館の見学者へアンケートをとるという方法もある。アンケート等主体的な広報活動に期待する。

(委員) 文化財に対する意見を吸い上げるため市民サポーター制度も可能ではないか。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。文化財普及活動の拠点となるような場所の確保が重要だと考えています。

(委員) 今回の明和池遺跡の土器や瓦の実物を触れるコーナーの取組はいいと思う。

(委員) さわれる土器はこどもの反応もいい。こども対象の取組は将来の文化財サポーター活動につながっていくのではないか。

(委員) 考古遺物は破片が多いので、文化財への興味をもってもらうのが難しい。

(事務局) 出前講座などでも口頭による説明だけではなく、土器の実物を持ち込んで、講座を開催するように努力しています。

(委員) 出前講座というツールがあるのなら、子どもを巻き込む方法を考えて欲しい。また学校は土器など文化財の事を良く知らないのでは。

(委員) 広報の連載が大事。広報の連載が冊子となり、身近に歴史をアピールできる。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。今後とも効果的な文化財普及啓発活動に努めてまいります。

## 案 件：(3) 令和5年度 千里丘西地区再開発に係る発掘調査結果について

(事務局) 千里丘西地区再開発に係る試掘調査の結果について報告

### 検出された遺構

今回の発掘調査で検出された遺構は、土坑、溝、落ち込み、ピットでした。建物跡が想定されるような柱穴の検出はありませんでした。遺物包含層や遺構から検出された土器等は、小片で摩滅しており出土量も少量でした。これら遺構や遺物の状況から、江戸時代以前の人々の生活の場である集落ではなく、集落から離れた場所であったと思われます。また遺構面を覆う遺物包含層の下面は、ほぼ水平堆積で耕作土である可能性が高いと判断されます。

今回の調査で精査し遺構を検出した遺構面は3面でした。上層から第1遺構面は現状地盤からマイナス1m前後、第2遺構面は現状地盤からマイナス1.4mから1.5m前後、第3遺構面は現状地盤からマイナス1.5mから1.6m前後でした。

第1遺構面から検出された遺構は、ピット、土坑で上記のように建物跡は検出されませんでした。

遺物の検出状況から時代を特定することが非常に困難な状況ですが、概ね江戸時代以降に形成されたと考えられます。

第2遺構面から検出された遺構は、ピット、溝、落ち込みで第1遺構面と同様に建物跡はなく江戸時代の耕作土の堆積だと考えられます。

第3遺構面から検出された遺構は、ピット、溝、落ち込み、土坑で第1遺構面、第2遺構面と同様に建物跡はなく江戸時代までに形成された耕作土の堆積だと考えられます。

### 検出された遺物

遺物包含層からの出土遺物が示す時代は、縄文時代・古墳時代・平安時代・鎌倉時代・室町時代・江戸時代です。また、弥生時代と奈良時代のは確認できませんでした。

これらの、土器・陶磁器は小片で表面が磨滅し、出土量は少量でした。このことは、今回の調査地が江戸時代以前の各時代の集落から離れたところであったと思われます。

一方、盛土やその直下の耕作土、攪乱坑等から出土した土器・陶磁器類は、表面の磨滅はなく破片が大きく比較的多く出土しました。それらが示す時代は、明治時代以降とりわけ昭和時代が中心とみられます。調査地西隣のJR千里丘駅は1938（昭和13）年に開業していますが、駅開業後に進んだであろう宅地開発により、調査地が空地・耕作地から住宅地へと変容していく様がこれら出土遺物から分かります。

### 写真と図面で説明した遺物

凹基無茎式石鏃 サヌカイトの剥片 丸瓦の一部（肩部） 色絵磁器の皿 一文字軒瓦の一部  
土師質土器の上置

### [質疑応答や各委員の意見等]

（委員）今回検出されたのは耕作土だという事だが、田なのか畑なのか。

（事務局）今回検出された堆積は全て水平堆積でいずれか特定するのは難しい状況です。

（委員）今回の調査で分かった事は、千里丘遺跡は、小区画から大区画へと変遷していく生産遺跡という認識でいいのか。

（事務局）その通りです。

### **案 件：（４）市指定有形文化財「旧一津屋公会堂」について**

（事務局）市指定有形文化財「旧一津屋公会堂」について説明

旧一津屋公会堂は、大正2年（1913）に芝居小屋として建築され、当時は旅回りの劇団や地元青年団の芝居などが盛んに行われていたようです。大阪府において大正時代の建物で現存しているものは、この建物の他、現在確認できていません。

建物は木造2階建て、1階面積222.95㎡です。旧一津屋公会堂は芝居小屋の機能を備えている点が最大の特徴です。芝居小屋の機能としては、舞台を有していること、楽屋として利用できる地下室があること、2階観覧席である<sup>さじきざき</sup>敷席があること、舞台音響施設である<sup>くろみす</sup>黒御簾があることの大きく4点が上げられます。旧一津屋公会堂は、大正時代の芝居小屋のたたずまいを現在に残している貴重な建物です。

## 令和6年度 旧一津屋公会堂耐久性調査委託業務(予定)

### 事業の内容

耐久性調査は、文化財専門業者により、文化財建造物としての耐久性を正確に測るとともに、文化財的価値を損なわない補強方法について提案いただく内容となっています。

受託業者により限界耐力計算による耐震調査を行います。また、必要に応じて地盤調査を実施します。

対象建物を詳細に調査し、歴史的変遷、傷んだ部材や構造上の問題点、改善すべき箇所を洗い出し、保存修理・活用改修実施設計を行うことのできる情報をそろえます。

文化関係団体等に聞き取りを行い、今後の方向性について検討します。

近隣住民からの聞き取りにより、本建造物の建築当初の形状や後の改造過程等、歴史的変遷を調査します。

公益社団法人日本木材保存協会が認定する劣化診断士による木材の劣化診断を行います。

文化財保護審議会への説明資料を作成するとともに、審議会での意見を業務内容に反映させるために受託業者と調整します。

### [質疑応答や各委員の意見等]

(委員) 実際に芝居をして摂津市をPRするのは良い事だ。文化的な中核施設になる。

(委員) 興行ベースではなく、大学の劇団の練習や発表の場にふさわしい。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。今後の旧一津屋公会堂の保存や活用の計画の参考としてまいります。

### 案 件：(5) その他

(事務局) 千里丘駅西口再開発事業で千里丘遺跡の調査成果の顕彰板作成を検討しております。何かいいアイデアはないでしょうか。

(委員) 前回の大阪府の調査や今回の調査の成果を周知する事を前提として、イラストで縄文人が千里丘陵に狩りにいくような物語を表現すればいいのでは。

(委員) 近隣の明和池遺跡の調査成果とセットで周知していければいいのではないか。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。本日は活発な意見交換ありがとうございました。

午前11時30分 審議会 終了